



「はじめて
だから...」
やさしく
してね...」

トロ
甘な
キ声で

何度
も

絶頂!

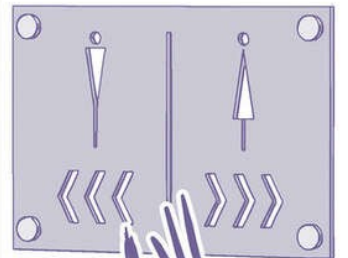
1

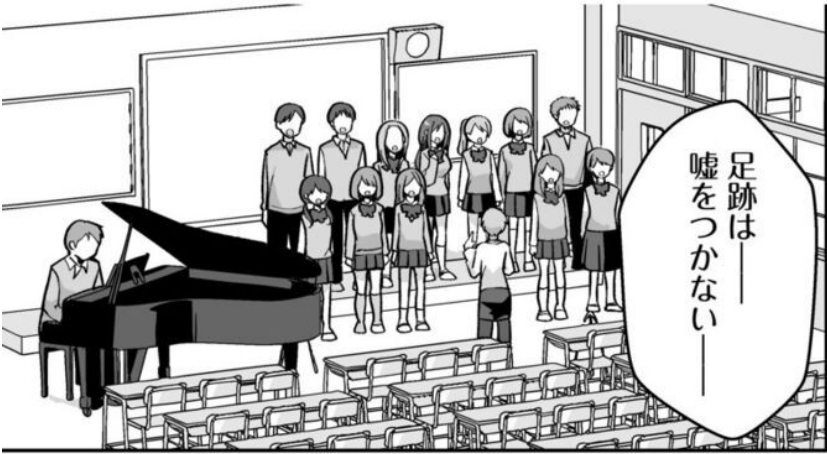
成年
コミック

AKASA TANU

赤佐ため

アシオナ
NEXT





足跡は...
嘘をつかない...



青い空に...
羽ばたけ...
僕らのみらい...



こんなの...
絶対おかしいって
わかってる...けど...



ホップステップで
近づく...
ドリーム...



やって...
よかった...よね?



よ...
よかった...よね?

数日前

ただいま

きょうの
合唱練習も上手く
歌えなかった

人と話すの
だって
勇気いるのに

大きな声で歌うなんて
ハードル高すぎるよお

先生に
叱られて…

もっと
声出して!!

水瀬!

クラスの
みんなにも
笑われて…

アハハ

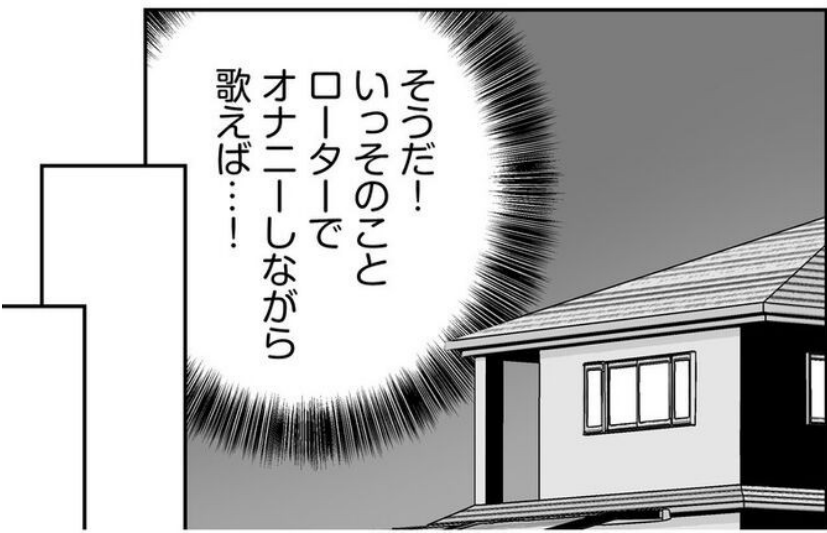
なごみり…

かみくら
門倉くんにも
失望されちゃった
だろっな…





オナニーなら
大きい声
出る!!



そうだ!
いっそのこと
ローターで
オナニーしながら
歌えば...!



なんとかして
合唱のときも
この声量
でないかな...

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



なにか特訓
したの？

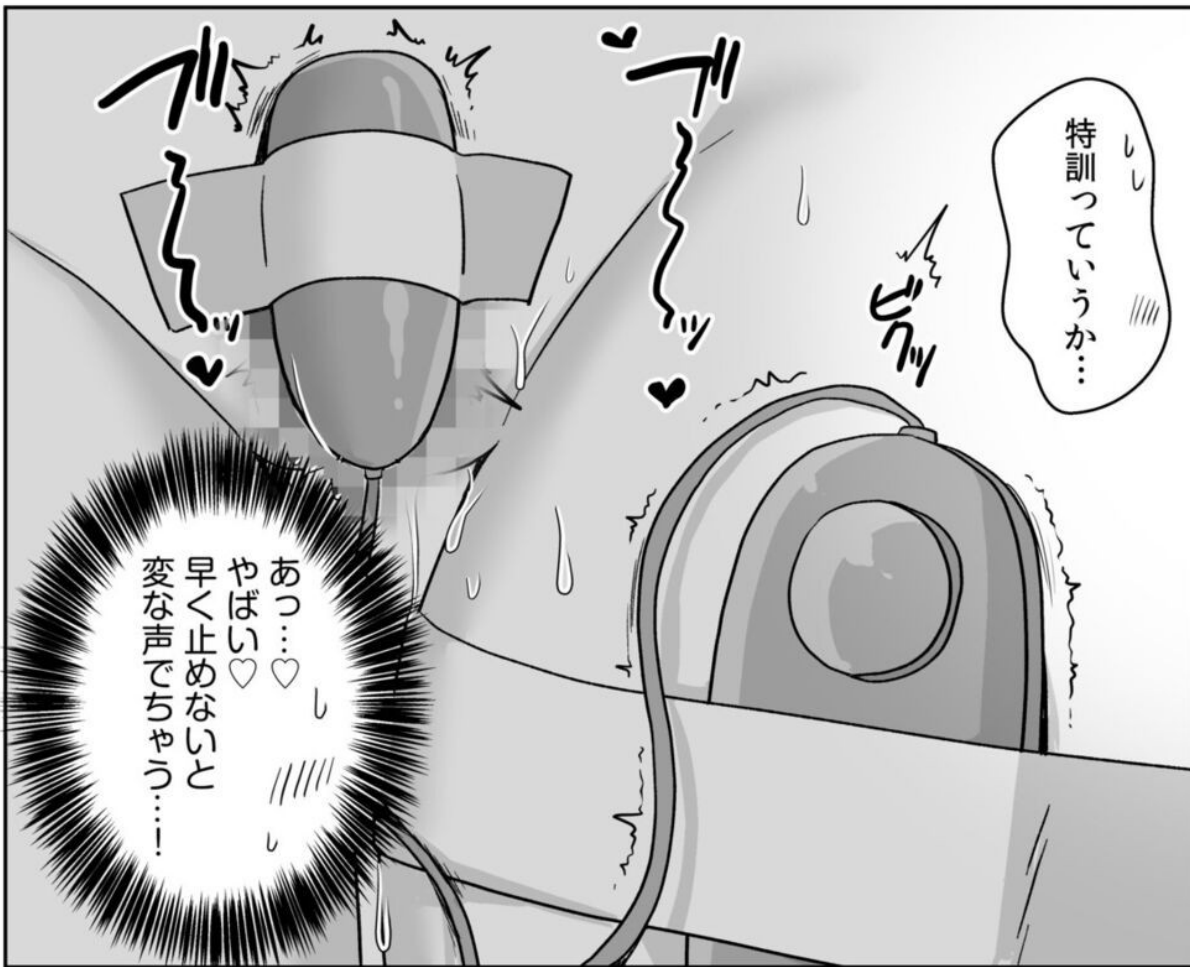
はー
はー

やればできる
じゃない！



すごい
じゃない
みませ
水瀬さん！

そして
いまに至る

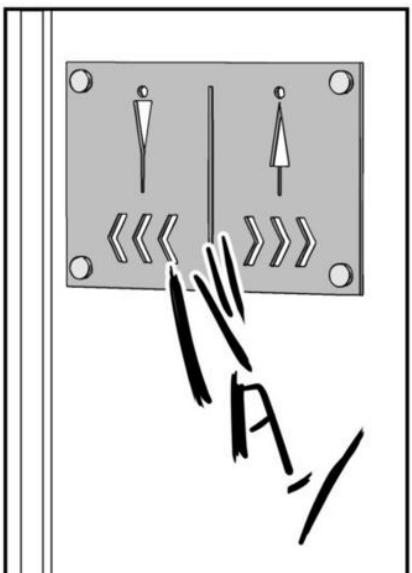


特訓って
いうか…

あっ…♡
やばい♡
早く止めないと
変な声でちゃう…！



えーっと…



ありがとう
マコトさん！
ほっ。



よし！
きょうは
ここまで！
もう
コンクールまで
時間ないから
あしたも
特訓するわよ！

キーン



パンツ
ビショビショに
なっちゃった…

あしたは
替えのパンツ
持って
こなくちゃ…



は〜
は〜
バシて…
ないよね…?



門倉くんの足
引つ張るような
ことにならなくて
よかった〜

でも！
オナニー作戦
大成功♡



きやっ！





水瀬?

門倉くん!?

ごめんな
立てるか?



わり…



心配して
たんだよ
よかったな

見えて
くれたんだ!
嬉しい!

水瀬きょう
みんなに
褒められてたな

えっ

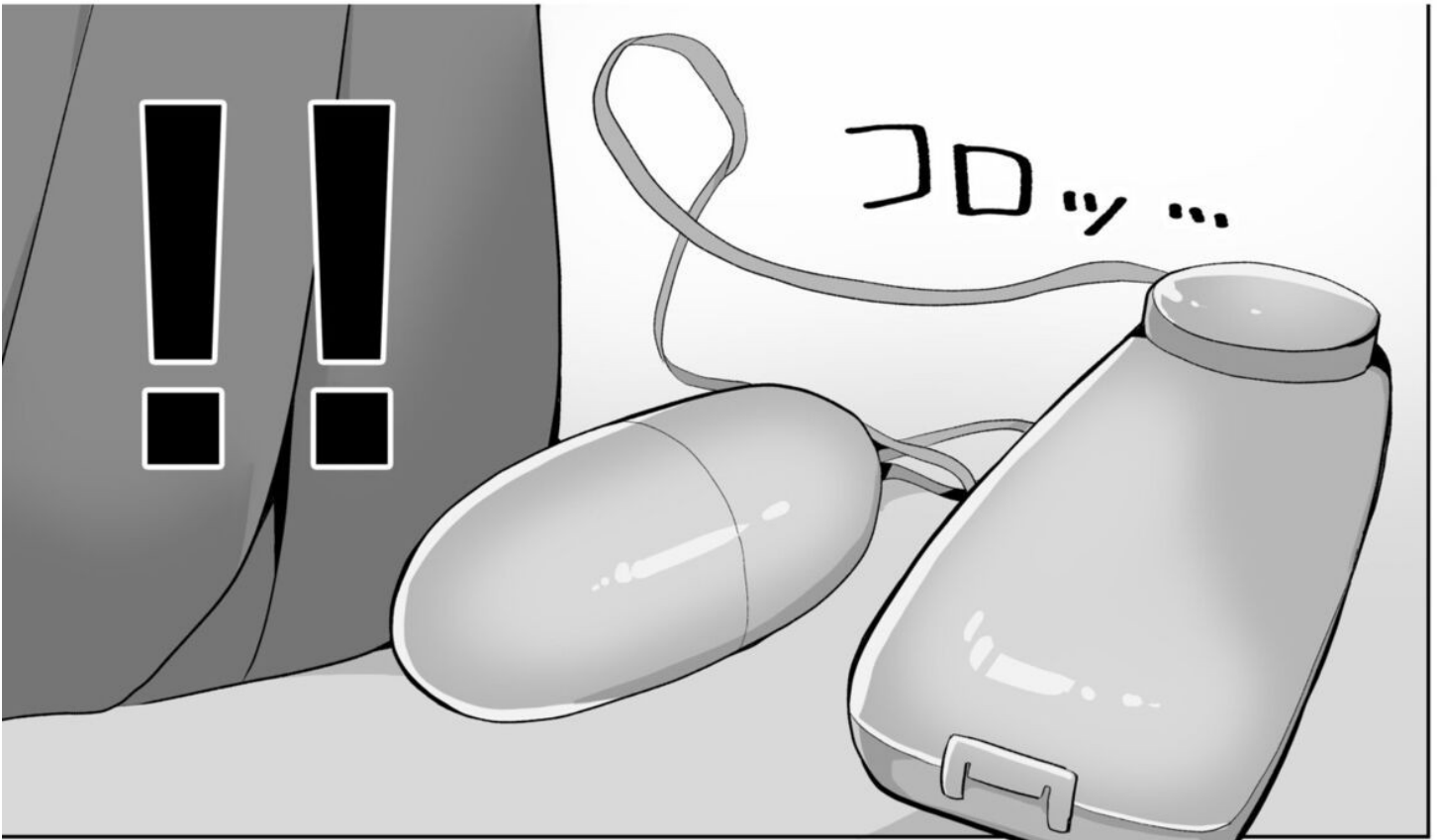
そうだ



あのっ…

ん? なんか
落ちてるぞ







ごっ
ごめん!

こっ…声が
大きいよ
門倉くん!



routerを
使って声を
出していたあ!?

わっ



大きい声を
出す方法が
これしか
思い浮かばなくて…

いっ
えっ



かみみ

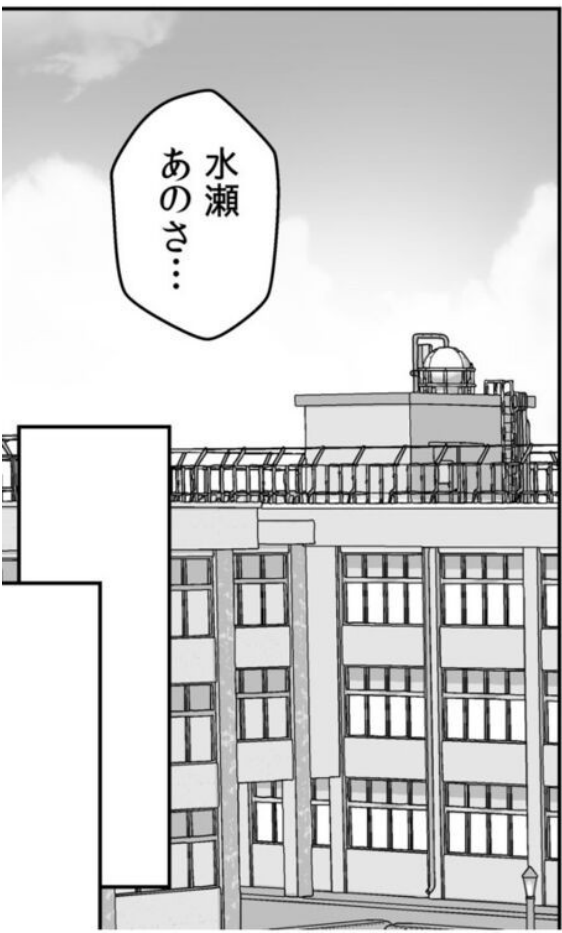


呆れた…
よね…?

いっ
えっ…



どんな方法であれ
真面目に
取り組もうとする
水瀬は偉いよ！



水瀬
あのさ...



門倉くん...！

ズ
ッ
ッ

方法はちよつと
アレだけど...



そうかな…？

二人で「本番」
したほうが
いい声のレッスンは
なるよ！

ああ！

どき



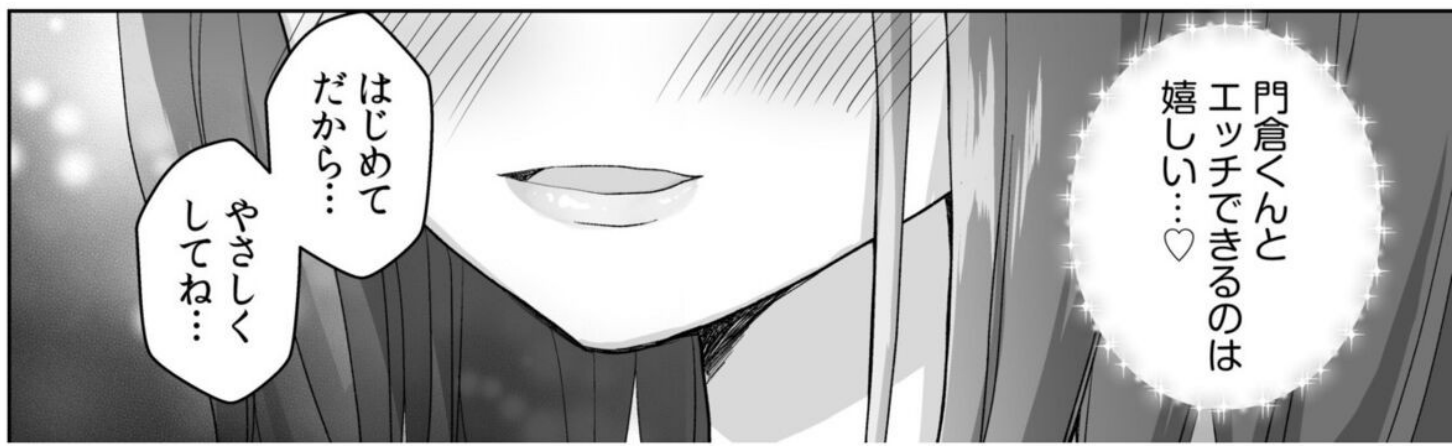
にわかに
信じられ
ないけど…

どき



ホントに…
するの…？

どき



門倉くんと
エッチできるのは
嬉しい…♡

はじめて
だから…

やさしく
してね…



おおっ！

どおん



むに

そんなことない
かわいいよ



乳輪大きくて
恥ずかしい…

水瀬
おっぱい
大きいね

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



さっそく
いい声
出てきたな!

声が
出ちゃう!

恥ずかしい!

もみ♡

あっ♡

ああっ♡

もみ♡



好きな人に
触られてる
からかな...?

...あ...



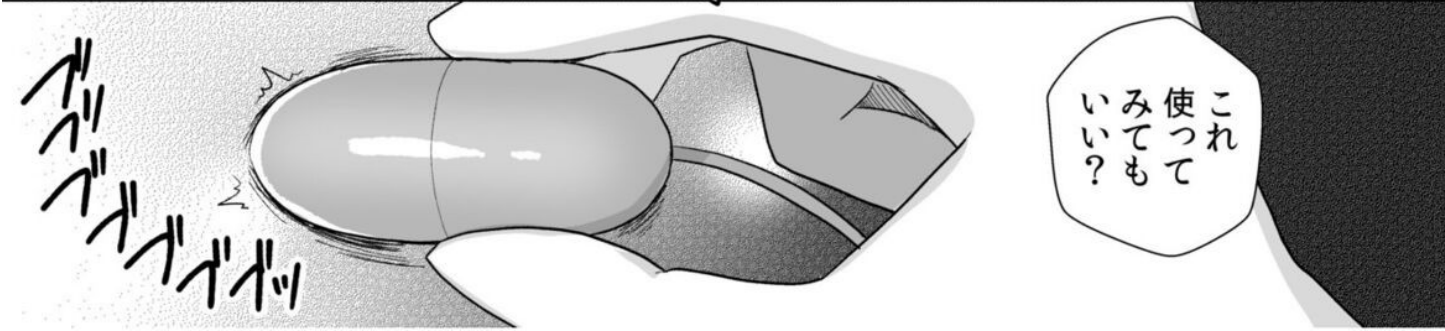
乳首でこんなに
感じるなんて...?

あ♡

ちゅう

もみ♡

あっ♡





だダメ!

ズズズズズズ

はっ...!!

はっ...!!

ズズズズズズ

クリ●リスに 当てただけなのに...

イッた...?

はっ

はっ



どんだけ
ローター
好きなんだよ

あ...あの...

いつも
使ってるから
イキやすくて...

はー
はー

エロすぎて
嫌われた!!



俺誰にでも
こういうこと
するわけじゃ
ないからな

水瀬だから
したいんだ

門倉くん...!



水瀬...
挿れていいか?
俺もう
我慢できないよ

門倉くんも
すごい
興奮してる...!



実は俺も
はじめてで…

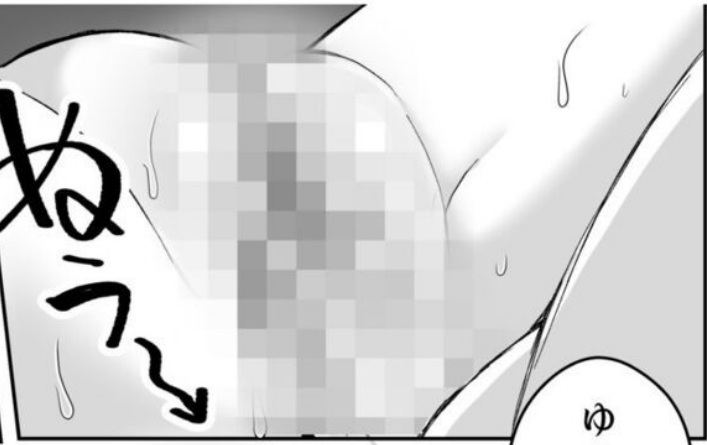
そう…なの？

水瀬で卒業して
大人に
なりたい…！



水瀬…
気持ちいい！

門倉くん…♡







そういう問題じゃ…

グイッ

これなら
顔見えないから
恥ずかしく
ないだろ？

思いつきり
声だせ！

下

アアアア



いいぞ！
その調子だ！

アアアア

グイッ

アアアア

アアアア

アア

アアアア



おちく

たっ

びしょ



あつ
そつだ！
そついう
話だった！

はっ

俺 水瀬の声
好きだぜ

声すごい
出てたな！



すげー
気持ちよかった！
ありがとう水瀬

身体が芯から
熱い...！
こんなの
はじめて...！

ズン
ズン

ちゅっ
ちゅっ

はー
はー



さすがに本番で
ローターを使うのは
危険じゃないか？

けど...



ローターで
本番もがんばるね！

ありがとう♡
門倉くん！



あわわわ

だだよね
どうしよう...

こちらこそ！
水瀬の力になれて
嬉しいよ



「はじめてだから…やさしくしてね…」
トロ甘なイキ声で…何度も絶頂!(1)

著者 赤佐ため
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
 - ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-